

令和7年度 第1回 精神障がい者地域生活支援連絡部会 会議録

開催日時：令和7年8月26日（火）

開催場所：つるぎ町 農業構造改善センター2階 視聴覚室

参加機関：桜木病院・折野病院・美馬公共職業安定所・美馬保健所・美馬市保険福祉部保険健康課・つるぎ町保健センター・障害者支援センター小星園・障がい者支援施設かしがおか・地域活動支援センターまいか・相談支援センターイノセント・生活支援センターはくあい・地域活動支援センターやよい寮・三好保健所・つるぎ町民生委員児童委員協議会

事務局：美馬市長寿障がい福祉課・つるぎ町福祉課

1. 開 会

（1）「双極症（双極性障がい）を中心とした精神疾患に関すること」

社会医療法人あいざと会藍里病院の大森哲郎様を講師に迎え、双極症（双極性障がい）を中心とした精神疾患に関することについてお話を伺った。

精神疾患を有する外来患者数及び気分障害患者数の推移は年々増加しているのが現状で単極にとどまる割合よりも双極化する割合が15年の経過観察による調査で多い事や経過中に占める割合の説明の中で寛解期が約5割と発症してから長期にわたる事が印象的だった。

治療には薬物治療が基本となり生活リズムの維持が効果的。精神疾患を持ち、通院治療をしながら地域で生活している方は多く、家族や地域を含めた周りの人に必要なことは治療が必要な病気であることを理解し体の病気の人を見守るように焦らず回復を待つとの事だった。やはり地域で共に生活していく為には重層的な連携による支援体制が改めて必要だと感じました。

そして部会としては今後も地域課題の解決方法やそれについて講師やピアサポーターによる学習会を開催して行く予定です。

2. その他

美馬保健所より自殺未遂者支援事業に係る研修会後のアンケート案内がありました。